

# 児童図書室だより

🐱 よんでみませんか 児童図書室がえらんだ本 🐱

ものがたり  
ちしきの本

No. 104(2018. 7)

## のんちゃんともんシロチョウ【小低】

西村 友里 作 はせがわかこ 絵  
PHP 研究所 2018.4  
(J913-ニシ-1111508205)

大ちゃんがかまえたもんシロチョウを、クラスで飼うことになりました。生きもの係の風花が、図鑑を見て、エサの用意をしますが、チョウは、だんだん弱っていきます。どうやら、エサを食べていないようです。とうとうチョウは、死んでしまい、風花は、チョウをティッシュにくるんで、埋めることにしました。すると、ほとんどしゃべらない虫好きののんちゃんが、ついてきてくれたのです。生きものを飼うという責任、生きものの生と死について考えるきっかけになる本です。

## なきむし【小低】

いまむら あしこ 作 にしがか ひろみ 絵  
理論社 2018.3 (J913-イマ-1111500889)

転校した初日に、「なきむし」とあだ名をつけられた勇氣くん。なぜ、勇氣くんは泣いたのか、そのわけを考えたとき、本当に勇氣くんは「なきむし」なのでしょう。勇氣くんの行動で、クラスが変わっていくのです。翼と道子は幼なじみ。翼はいつもジャンケンに負けて、友達のリンドセルを運んでいる「きかんぼ」な道子を心配しています。道子に、なぜジャンケンに参加するのか聞いてみると、意外な答えが返ってきて……。二つの友情の物語です。

## 消えた時間割【小低～小中】

西村 友里 作 大庭 賢哉 絵  
学研プラス 2018.5 (J913-ニシ-1111512530)

教室前で、すごい風が吹いた朝、真子と明日香は、気づきました。墨汁が飛びちって消えた時間割予定のできごとが、本当になくなってしまうことに。菜々子の時間割表は、月曜日の「体育 鉄ぼう」が消えていました。手首にけがをしていた菜々子は、苦手な鉄ぼうをしなくてすみました。翔太の「算数」、涼人の「総合学習」もなくなりました。これって偶然？ まち調べで行った妙心寺に、学校で起きたできごとと似た、書の達人の伝説があると知り……。

## 青い月の石【小中～小高】

トンケ・ドラフト 作 西村 由美 訳  
岩波書店 2018.2 (YJ949-トラ-1111487820)

魔法使いの祖母と暮らすヨーストは、月が青くなる日には、特別で不思議な体験をしてきました。ある日、校庭で、古い歌遊びをしていたら、突然地面の下から、恐ろしい姿の男が現われます。男の名は、マホッヘルチェ。地下世界の王。マホッヘルチェが持つ青い月の石を求めて、ヨーストといじめっ子のヤンは、足跡をたどり、地下世界へ向かいます。数々の難題を突き付けられるヨーストですが、イアン王子や、地下世界の王の娘ヒヤシタ姫らの協力を得て、立ち向かっていく冒険ファンタジーです。

## 恋するいきもの図鑑【小中～小高】

今泉 忠明 監修 カンゼン 2018.2  
(J481-コイ-1111484749)

動物たちは、自分のことを好きになってもらうために、種類ごとにさまざまな方法で、気持ちを伝えようとします。その行動を求愛行動といいます。小石をプレゼントするアデリーペンギン（プレゼントで恋する）。恋をすると体の色が変わるパンサーカメレオン（アピールで恋する）。鼻にかみついてプロポーズするラッコ（激しく恋する）。動物たちの一生懸命だけど、おもしろい求愛行動を、ジャンルに分けて、イラストと解説で、わかりやすく紹介します。

## ガーティのミッション世界一【小高～YA】

ケイト・ビズリー 作 井上 里 訳  
岩波書店 2018.2 (J933-ヒス-1111491144)

世界一の小学5年生になってみせる！ガーティはある目的のために、ミッションを成功させようと頑張ります。ところがそこに、ライバルが出現！ 転校生のメアリー・スーは、ブロンドヘアでかわいく、勉強もでき、芸能人の知人もいます。ガーティは、メアリー・スーを追い出そうとします。そんなある日、生まれてすぐ家を出たお母さん家が売却されたことをガーティは知り……。型破りで、時には、大事な人をも傷つけてしまうけれど、どこか憎めないガーティの奮闘の日々を描きます。

## ぶどう畑で見る夢は こころみ学園の子どもたち

【小高】

小手鞠 るい 著 原書房 2018.4  
(J369-コテ-1111508116)

栃木県足利市の山のふもとにあるこころみ学園の生徒と先生の日々の暮らしを紹介した本です。こころみ学園の生徒は、知的障害をもつ人たち。生徒たちは、急な斜面に作られたぶどう畑で、毎日朝早くから夕方まで、泥まみれになって働いています。彼らが大切に育てたぶどうは、園のそばにある「ココ・ファーム・ワイナリー」でワインにされるのです。働くこと、人として生きる意味について考えさせられる1冊です。

## しあわせの牛乳 牛もしあわせ！おれもしあわせ！

【小高～YA】

佐藤 慧 著 安田 菜津紀 写真  
ポプラ社 2018.3 (J641-サト-1111498842)

岩手県の「なかほら牧場」の牛たちは、一年を通して山で自由に生活しています。えさの草や糞尿処理も自然にまかせ、牛も人間も幸せな「なかほら牧場」。牧場長の中洞正さんは、近代酪農に疑問を感じ、牛に対する思いからこの牧場を作ります。しかし、中洞さんが行う山地（やまち）酪農は、日本では数が少なく、現在のようになるまで様々な苦労と努力がありました。中洞さんの人生を通して、自然と人間の共生について描くノンフィクションです。

